

## 旭川市保健所運営協議会における報告事項

担当課 健康推進課

## 【報告事項】

## 感染症の発生状況について

## 【説明要旨】

本市における感染症発生状況について、次のとおり報告します。

## 1 全数把握対象感染症の発生状況（平成30年1月～12月）

	一類	二類	三類	四類	五類	計
平成28年	0	54	3	48	53	158
平成29年	0	42	8	21	49	120
平成30年	0	35	17	19	107	178

二類感染症は、結核の届出となり、減少傾向が見られます。

三類感染症は、細菌性赤痢8件、腸管出血性大腸菌感染症9件となり、例年よりも、細菌性赤痢の発生が増加しましたが、山梨県の宿坊で起きた食中毒に関連した届出が6件あり、このことが増加の要因となります。

四類感染症については、主な発生はE型肝炎の14件となりますが、平成30年につきましては、国内5例目となるダニ媒介脳炎が1件確認されています。

また、五類感染症の届出件数が増加していることにつきましては、平成30年1月より、百日咳が全数把握疾患となったことに伴い、64件の発生状況が確認されていること、また、全国的に増加している梅毒が17件確認されていることによるものと考えております。

## 2 ノロウイルス集団感染発生状況（平成30年1月～12月）

	H26	H27	H28	H29	H30
集団発生件数	15	10	23	10	13

平成30年に本所に連絡のあった集団感染発生件数は13件でしたが、そのうち10件は、平成30年4月～6月に集中して発生が確認されました。

## 3 インフルエンザの発生状況

平成30年冬のインフルエンザの発生は、平成30年12月初旬から流行期に入り、平成30年12月中旬には、1定点当たり18.15人に達したため、注意報を発令、12月下旬には、1定点当たり37.23人と警報基準となりました。

平成31年1月初旬には、1定点当たり54.77人とピークを迎え、その後発生数が減少し、平成31年3月初旬には警報を解除しています。

感染症の発生状況に応じ、今後も感染予防に関する普及啓発を実施すること、また、施設向けに研修会を開催する等、集団発生の防止にも、引き続き取り組みます。